

せんがわ劇場（とりまとめ）

評価の視点	評価対象施設	評価内容	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
住民の平等な利用の確保	共通	利用者の平等な利用が確保されているか、一部の利用者への偏りはないか	・せんがわ劇場指定管理者事業計画書P41 ・財団ホームページ	・せんがわ劇場条例に基づき、施設予約システムによる平等な条件での抽選。	○	○	○	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】利用者の声を反映し、誰もが利用しやすい管理運営に取り組んでいる。	
	共通	年齢や障害の有無等に関わらず、誰もが利用しやすいように工夫している（バリアフリー対応等、福祉の視点を持った来館者への対応がなされているか）	・令和元年度事業報告書P17 ・令和2年度事業報告書P16 ・財団ホームページ	・職員のダイバーシティ意識向上研修の実施 ・障害者をお客様として来館した場合や、障害者が出演者となる場合を想定したサポート研修を実施 ・公演で台本の貸し出し、観劇サポートツアーを実施し、障害の有無にかかわらず演劇をより深く楽しめる工夫とバリアフリーの取り組み共存	◎	◎	○	○	◎	◎		
利用の促進及びサービスの向上に向けた取組	共通	利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供が行われているか。また、施設や事業等の情報について、広報誌以外の多彩な方法で広報を行っているか。	・令和元年度事業報告書P27 ・令和2年度事業報告書P25～26 ・令和3年度事業報告書P24～25	◆施設や事業の情報提供 ・財団報ばれっと 毎月1回発行 市内各戸配付 ・ホームページでの情報提供 ◆広報誌以外の方法 ・デジタルサイネージ ・メールマガジン ・SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、youtube） ・コミュニティFM ◆地域密着の情報提供 ・仙川商店街に看板 ・商店街アナウンス告知	○	◎	○	○	○	◎	<評価できる点> ・【3館共通】複数手法を活用して利用者からの意見を把握し、可能なものは迅速に対応したうえで対応結果をホームページ等で公表するなど、丁寧な対応により改善に努めている。 <課題点> ・【3館共通】利用者懇談会について、参加者が固定化しているようであれば、開催回数の見直し等多様な意見を収集する方法の協議・検討が必要だと考える。 ・利用者の声への対応について、条例に定められていることを理由に減額対応ができないと回答しているものが見られた。	・利用料金の在り方についての利用者の声に対し、合理性が認められる場合は、必要に応じて市に提案する姿勢が望まれる。 ・市民における認知度や利用度の向上に向け、目標値を定めるとともに、測定の仕事を作るとよい。
	共通	利用者の意見・要望を受け止め、施設の管理運営に反映させる仕組みを有しているか。また、利用者の声について、市と適切な情報共有を図り、効果的・効率的な対応手法を市に提案する等、課題解決に向けて適切に対応できているか	・令和3年度事業報告書P16、95 ・財団ホームページ	◆利用者の意見を施設管理運営に反映させる仕組み ・意見・要望の対応・結果の情報共有と財団ホームページでの公表。 ・利用者懇談会の年2回の開催。 ・市の所管部署と毎月定例ミーティングし情報共有 ・令和3年度施設利用率 ホール 83% リハーサル室 85% ◆利用者アンケート（令和3年度） 施設利用者満足度 97.2%	◎	◎	△	○	○	○		
	共通	利用者アンケートを実施しているか。また、アンケート結果について結果は良好か。併せて、利用者ニーズを踏まえて対応の見直しや工夫など、利用者満足度の向上に向けた取組が行われているか			○	◎	○	○	◎	○		

評価の視点	評価対象施設	評価内容	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎:優れている, ○:標準的 △:改善余地あり ×:抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
	共通	施設の管理と事業の運営を一体的に行うことにより、事業の充実が図られ、施設の利用目的が効果的に達成されているか	・令和元年度事業報告書P96	◆施設と事業を一体的に運営する効果 ・劇場空間を活かした体験型のプログラム「ロールプレイング劇場」の実施 ・たづくり・グリーンホールで培った施設管理者としての知識やノウハウを市に積極的に提供できる ◆地域に根ざしながらも、企画性の高い事業展開	◎	○	◎	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】市の充実した文化活動の担い手であり、市のブランド価値を高める役割という自負を持って運営に当たっている。 ・【3館共通】専門人材を抱えているゆえに中長期視点での施設維持施策が実現できていると思われ、素晴らしい。 ・音楽、演劇、落語など幅広いジャンルの鑑賞や市民参加型事業のほか、市内小中学校へのアウトリーチ事業など、これまで培ってきた知識や経験を生かし地域に根ざした取組を行っている。 ・市外からのアクセスがしやすく、周辺景観、施設のデザインも相まって、出演者にとっても利用者にとっても訪問したくなるような劇場であると感じた。地域大学との連携は非常に良い取組であり、引き続き積極的に推進していきたい。	・【3館共通】指定管理期間が10年間となったことを踏まえた事業展開・充実を図ることが必要。 ・【3館共通】3施設の規模・内容は異なるが、他の施設の管理や事業展開で得た知識や経験を更に生かすよう取り組むべき。 ・【3館共通】3施設の一元管理によりコスト抑制がどの程度できたかを可視化していただけたらとよい。 ・【3館共通】企画立案などの事業における3館の連動性について、組織的・地理的な分割りを排除するとより効果的な事業運営になる。継続的な取組、今後の一層の推進に期待。 ・【3館共通】10代・20代の若い方々により関心を持ってもらえるような斬新なプログラムやイベントがあるとうい。 ・【3館共通】なんとなく足を運ぶような、若年層も含めた、まちの交流拠点になるような取組があると、さらに良い施設になると思われる(テーブル、Wi-Fi、コンセントなどの設置・開放)。 ・【3館共通】調布～仙川も、まちの至る所で野外演奏がある音楽の都ウィーンのようになるとよい。演奏の強みを生かしつつ、デジタル技術を活用した事業展開の実施が求められる。
	せんがわ劇場	調布市における舞台芸術の拠点であるせんがわ劇場において、地域に根ざした劇場の特色を生かしながら、企画性、新規性に富んだ舞台技術を創造・発信しているか	・令和元年度事業報告書P95～96 ・令和2年度事業報告書P90 ・令和3年度事業報告書P84～85	◆市民参加演劇 ・公募による体験談を元にオリジナル脚本作成 ・演出家 小笠原龍による演出 ・出演者は公募で集まった市民とプロ俳優 【親と子のクリスマス・メルヘン】 ・毎年新規に制作する、企画性の高い演劇 ・観劇サポートも充実 ・親子で楽しめる地域に根ざした事業	◎	◎	○	○	○	○		
	せんがわ劇場	豊かな人間性と創造力を育む源泉である舞台芸術において、市民ニーズを的確に把握し、音楽、演劇、古典芸能をはじめ、幅広いジャンルの鑑賞事業を実施しているか	・令和元年度事業報告書P92～96 ・令和2年度事業報告書P86～91 ・令和3年度事業報告書P80～85	◆幅広いジャンルの鑑賞事業 【音楽】サンデー・マティネ・コンサート、せんがわミュージックライブ、せんがわピアノ・オーケストラ。 【演劇】親と子のクリスマスメルヘン、演劇コンクール、市民参加演劇 【古典芸能】おらほ亭せんがわ寄席	◎	◎	○	○	○	○		
	せんがわ劇場	地域に開かれた劇場として、人と人がつながる劇場をつくるため、市民が気軽に参加できる市民参加型の企画を積極的に展開しているか	・令和元年度事業報告書P92～97 ・令和2年度事業報告書P86～91 ・令和3年度事業報告書P80～85	◆地域に開かれ、人と人がつながる劇場 ・市民参加演劇、「おらほ亭せんがわ夏まつり」連携事業 ・演劇アウトリーチ事業 市内小中学校で出張演劇講座 講師は演劇コンクール入賞者の組織「ドラマ・エデュケーション・ラボ(DEL)」が担当 不登校生徒支援「はしろう教室」、障害児の「放課後等デイサービス」でも実施 ・音楽アウトリーチ事業 市内小中学校で出張コンサート 桐朋学園大学学生を派遣 ・桐朋学園芸術短期大学、白百合女子大との連携事業	◎	◎	◎	○	○	◎		
事業計画の内容	せんがわ劇場	舞台芸術の価値を確実に継承していくため、様々な体験・育成支援プログラムを展開し、次世代を担う芸術家と鑑賞者を育成する取組が行われているか	・令和元年度事業報告書P93～96 ・令和2年度事業報告書P87～90 ・令和3年度事業報告書P80～85	◆体験・育成プログラム、次世代育成 ・演劇・音楽アウトリーチ事業 ・親と子のファミリーコンサート(音楽) ・親と子のクリスマス・メルヘン(演劇) ・夏休み子ども表現ワークショップ(演劇) ・せんがわミュージックライブ(音楽) ・せんがわピアノ・オーケストラ(音楽) ・せんがわ劇場演劇コンクール(演劇) ・せんがわワークショップフェスティバル(演劇)	○	◎	○	○	○	○		
	せんがわ劇場	市の直営時で行ってきた取組を発展的に継承されているか、また公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団が有する経験やノウハウを生かして事業の充実やより良いサービスの提供に取り組んでいるか	・令和2年度事業報告書P33、86～89 ・令和3年度事業報告書P81、84	◆市営時から財団の特色へ発展的な継承 せんがわ劇場運営プランに基づく運営 ⇒たづくり・グリーンホールとの3館連携 ・せんがわミュージックライブ、あなたのための音楽会、ワークショップフェスティバルを新規立ち上げ ・3館連携した調布国際音楽祭、巡るアート・プロジェクト	○	◎	○	○	○	○		
	せんがわ劇場 【3館共通】	共生社会の充実や多文化共生の推進に向けて、これまで取り組まれてきた内容は効果的であるか。また、今後更なる充実を図るための具体的な方策が考えられているか	・令和元年度事業報告書P11、96 ・令和2年度事業報告書P10 ・令和3年度事業報告書P11	◆財団の経験・ノウハウを事業に活用 ・東京2020大会のレガシーと多文化共生 ・財団独自テーマ「10年後の君へ」 次世代へ明るい未来と夢を残すことをテーマとし、地域との連携・協働、伝統文化継承、芸術家・鑑賞者の育成に長期的視野で取り組む ・共生社会の実現 保育サービス、赤ちゃんOKの日、台本の貸し出し、観劇サポート 一今後とも年齢、性別、障害の有無にかかわらず多様な市民が参加できる事業を展開	◎	○	○	○	◎	○		
	せんがわ劇場 【3館共通】	他の類似施設や施設運営団体における取組も参考にしながら、社会潮流(平均寿命の伸長や、デジタル技術の進歩等)や利用者ニーズを的確に捉え、事業展開につなげられているか。	・財団ホームページ ・令和2年度事業報告書P86 ・令和3年度事業報告書P80	◆社会潮流や利用者ニーズをとらえた事業展開 ・せんがわ劇場でもグリーンホール・たづくりの公演チケットが購入可能になった ・施設利用料がキャッシュレス支払い可能になった ・サンデーマティネコンサート動画配信 ・最新の公共劇場の動きを捉える機会の活用	○	○	○	○	○	△		
	せんがわ劇場 【3館共通】	財政支出の縮減と平準化のため、適切な維持管理による施設の長寿命化と、徹底的な省エネルギー等によるライフサイクルコストの縮減の取組がされているか		◆3施設の一元管理によるスケールメリット ・専門人材が一元管理し、中・長期的改修計画、コスト適正化 ・たづくり・グリーンホールで培ったノウハウを活用した安心・安全を提供する施設管理運営	◎	○	○	○	○	○		
	せんがわ劇場 【3館共通】	たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の3館連携による、それぞれの特色を生かした、効果的で全体的な視点での事業展開が図られているか	・令和元年度事業報告書P18～20 ・令和2年度事業報告書P17～18、33 ・令和3年度事業報告書P17～18	◆3館連携による全市の事業展開 ・巡る・アートプロジェクト(令和2年度) ・調布国際音楽祭	○	◎	○	○	◎	○		

評価の視点	評価対象施設	評価内容	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
指定管理業務に関する収支の状況	共通	利用料金収入等の確保や支出の抑制についての取組（工夫・見直し等）が行われているか	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告書P110, 118 令和2年度事業報告書P103, 111 令和3年度事業報告書P97, 105 	<p>◆自主財源確保への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業協賛金 寄附金 助成金の獲得（文化庁、民間財団等） <p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★全国の公共劇場での厳しい獲得競争 ★直営館と指定管理館の評価基準大きく異なる（直営館は獲得しやすい）ことが判明 <p>戦略的に助成金の枠組みに合わせた事業企画を立案し、獲得額を回復させた</p>	○	○	△	○	○	○	<p><評価できる点></p> <ul style="list-style-type: none"> 【3館共通】助成金の獲得に向け積極的に取り組んでいる。引き続き、様々な団体等による助成金及び補助金制度に関する情報収集を幅広く行い、資金獲得に努めて頂きたい。 事業者が助成金等の獲得について戦略的に検討し、実績をあげており、高く評価できる。 <p><課題点></p> <ul style="list-style-type: none"> 【3館共通】事業報告の内容がわかりづらい。収支改善の分析が難しくなると考える。 【3館共通】コロナ禍において、利用料金収入が大幅に減少し、指定管理料の増額（公費負担）で対応する状況が続いている。外部環境の変化に伴う収入確保対策は課題と考える。 【3館共通】寄附金については、収入規模から比較すると少ない印象。自己収入獲得策が課題。 収支計画において利用料金収入を毎年10,200千円と計画しているが、実績は計画から未達の状況が続いている。利用料金収入の増加が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 【3館共通】積極的にコストカットするという目標を持って取り組むべき。 【3館共通】支出の内訳を常に見ることで、改善の余地がないか検討していくべき。 【3館共通】利用料金の在り方に関する検討・見直しを積極的にを行い、必要に応じて市に提案する姿勢が望まれる。 【3館共通】ファンドレイジングの評価が必要。個人からの寄付や企業協賛をもらえないかなど、収入の柱になるものについても検討の余地あり。 【3館共通】指定管理期間延長により、投資回収の考え方が導入しやすくなる。そういった検討もしていただきたい。 【3館共通】利用率の低い施設は、多目的利用を可能とする施設に改修したり、無料貸出スペースとしてもよいのではないか。 条例においてチケット収入と連動した料金設定がされていない。受益者負担の見直しの必要性については市に提言する等の取組が望まれる。
	共通	補助金の獲得など、自主財源の確保に努めているか。また、それを事業展開につなげているか			○	◎	◎	○	○	○		
安定した運営が可能となる人的能力及び体制	共通	施設の管理に、人員が適切に配置されているか	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業報告書P17 令和2年度事業報告書P16 令和3年度事業報告書P16 	<p>◆施設管理の適切な人員配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 警備、受付、舞台、清掃などの委託業者も合わせ、安全・安心な施設運営ができる適正な人数を配置 <p>◆職員のスキル向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の導入（令和3年度～） 芸術文化の専門知識と、経営管理スキルを併せ持つアートマネジメント人材を育成する研修 関係者に関き取りし、運営プランの見直し実施し、次期の事業計画策定につなげている <p>◆職員間における専門的な知識やノウハウの継承</p> <ul style="list-style-type: none"> 財団基本計画の見直し（令和3年度） せんがわ劇場運営プランの見直しを定期的に実施 	○	○	○	○	○	○	<p><評価できる点></p> <ul style="list-style-type: none"> 【3館共通】調布市の行政実務研修に職員を派遣するなど、芸術文化の専門分野に特化せず、市と緊密に連携した人材育成を図っている。 <p><課題点></p> <ul style="list-style-type: none"> 【3館共通】アートマネジメント人材の育成においては、体系的な人材育成方針等によりノウハウの継承の視点も踏まえ、幅広い職員の意見も確認のうえ、計画的に取り組んで頂きたい。 	
	共通	施設の管理・運営や事業実施に関する職員のスキル向上（研修の実施や人事評価の実施状況等）に向けた取組が行われているか			○	○	○	○	○	○		
	共通	職員間における専門的な知識やノウハウの継承への取組が行われているか			○	○	○	○	○	○		

評価の視点	評価対象施設	評価内容	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎:優れている, ○:標準的 △:改善余地あり ×:抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
施設の維持管理 の内容及び手法	共通	修繕や点検等を適切に実施するほか、施設・設備の不具合等の早期発見、早期対応ができていくか。併せて、中長期的な視点での施設の維持保全についての取組が市と連携しながら適切に行われているか	・令和元年度事業報告書P17、106 ・令和2年度事業報告書P16、100 ・令和3年度事業報告書P16、94	◆施設・設備の修繕計画 ・建設から15年経過し、老朽化への備え必要 ・予防保全を重視し、不具合は早期発見・早期対応 ・施設の長寿命化、コスト削減の視点での市への提言 せんがわ劇場年間修繕 約10件 ◆緊急時対応への備え	○	○	○	○	○	○		
	共通	利用者の安全対策を含む、緊急時（事故・災害・感染症）の対応策が十分検討され、マニュアルや連絡体制が整備されているか。また、定期的に訓練を実施しているか。訓練の結果、改善したものはあるか。これらの取組について、職員のみならず、関係スタッフも含めた対応が図られているか。	・BCP（事業継続計画）	◆救命技能講習の受講 館内関係スタッフ含め全職員 ・マニュアルの定期的な見直し BCP（事業継続計画） 危機管理マニュアル ・安否確認システムを活用した緊急参集制度	◎	○	○	○	○	○		
	共通	消火器やAED等の非常用装備について、定期的に整備及び点検がされているか。また、職員で取り扱えるよう訓練の実施やマニュアル等は整備されているか。これらの取組について、職員のみならず、関係スタッフも含めた対応が図られているか。	・令和元年度事業報告書P104～105 ・令和2年度事業報告書P98～99 ・令和3年度事業報告書P92～93	◆消防訓練・消防設備 ・年2回の自衛消防訓練による防災知識向上 館内関係スタッフ含め全職員参加 ・仙川保育園、仙川ふれあいの家との合同訓練 ・法定の消防設備点検実施	◎	○	○	○	○	○		
	せんがわ劇場	複合施設（仙川保育園及び仙川ふれあいの家）であることを踏まえ、火災や地震等の災害だけでなく、防犯面での対応を含め、利用者等の安全、安心を確保する観点から、仙川保育園及び仙川ふれあいの家との連携が図られているか			○	○	○	○	○	○		
市との連携や市 における施策推 進への貢献	共通	災害時における市や地域等との協体制の構築等に関する取組が行われているか	・令和3年度事業報告書P11	◆災害時の市や地域との協体制 ・令和3年9月「災害時協力協定」を市と締結 ・市の災害対応に協力できる体制を配置	○	◎	○	○	◎	○		<ul style="list-style-type: none"> ・【3館共通】災害時における体制構築については、なるべく早く、「体制づくり」から「体制が整備された」段階へと進むことを切望する。 ・【3館共通】災害時協力協定の締結や協定に基づく市との共同訓練の実施など積極的に取り組んでいる。引き続き、指定管理者としての経験を生かし市への提言も含めて積極的に協力いただきたい。 ・【3館共通】国際交流の視点、多文化共生の視点を踏まえて、市の施策と連動した新たな取組が必要。
	共通	施設の貸出や各事業の実施等において、市への協力や市との連携に関する取組が行われているか	調布市ホームページ	・東京室内歌劇場、JAZZ ARTせんがわへの施設貸出協力	○	○	○	○	○	○		
	共通	施設の管理運営や各事業の実施を通じて、市と基本計画における関連施策の推進に貢献できているか	調布市基本計画 施策19-1「市民の芸術・文化活動の促進」・「せんがわ劇場のあるまちづくりの推進」	基本計画「せんがわ劇場のあるまちづくりの推進」 地域団体や大学、市民等との協働を進め、地域の魅力を高め、地域と共にまちづくりを推進	○	○	○	○	◎	○		

せんがわ劇場（とりまとめ）

評価の視点	評価対象施設	評価内容	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
その他	共通	個人情報の保護及び情報漏洩防止のための体制は適切か	・令和3年度規則・規程集	◆個人情報保護と情報漏洩防止 【市民の個人情報扱う責務の自覚】 ・財団の「個人情報保護規程」「情報公開規程」に基づき厳正に管理 【調布市監理団体・公益財団法人職員としての自覚】 ・情報セキュリティ研修の実施（令和2年9月） ◆まちの文化広場として地域ブランドを向上	○	○	○	○	○	○	<評価できる点> ・地域創造大賞を受賞されるなど、地域密着型の小劇場として、地域の文化振興に大きく貢献している施設である。こういった賞に募集する事業者の主体性も評価できる。 <課題点> ・【3館共通】個人情報保護については、改正個人情報保護法（2022年4月施行）に基づき、適切な管理に努めて頂きたい。また、定期的な研修実施など職員への周知啓発を図っていただきたい。	
	共通	地域等との連携による取組や地域貢献活動の実施内容は適切か	・財団ホームページ ・（一財）地域創造ホームページ	◆せんがわ劇場が 『令和3年度地域創造大賞（総務大臣賞）』を受賞 ・コミュニティ施設や保育園等併設の地域密着型小劇場。 ・舞台芸術系大学のあるまちの身近な劇場として、気軽に良質な音楽を鑑賞できる場の提供。 ・ピア/オーディションや演劇コンクールなど育成・発信事業 ・公募による市民劇などの取り組み 地域ブランドの向上に貢献した点が高く評価された	◎	◎	◎	○	○	◎		
	共通	省エネルギー、省資源等の環境へ配慮した取組が確保されているか	・令和3年度事業報告書P16	◆環境への配慮 ・舞台照明の一部LED化 ・ペーパーレス化推進 ・業務のデジタル化	○	○	○	○	◎	○		

- ◎評価結果(評価員からの主な意見)を踏まえ市における課題整理 ※今後のサービス向上等に向けての指定管理者との調整における視点
- ・【3館共通】利用者意見の効果的な収集及び利用者の声に対する適切な対応
 - ・【3館共通】それぞれの施設において培った経験やノウハウを活かした、3館連携の事業展開
 - ・【3館共通】若年層などあらゆる世代に関心を持ってもらえるプログラムの充実及び地域の交流拠点としての施設の有効活用
 - ・【3館共通】ファンドレイジングの取組強化や事業助成金の獲得の拡大等による財源確保と積極的な施設管理コストの縮減
 - ・【3館共通】中長期的な視点での人事戦略に基づく計画的な人材育成
 - ・【3館共通】指定管理者としての経験を生かし、市や地域等との災害時協力体制の継続的な構築・共同訓練等の実施
 - ・【3館共通】国際交流、多文化共生の視点を踏まえ、市の施策と連動した取組の検討・実施
 - ・市民参加型事業の実施や大学・地域との連携などを通じた、地域のブランドイメージ向上や市の文化振興に資するような施設運営・更なる事業展開